

(様式4-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

1. 整備計画												
計画の名称	② 地域再生計画 住んで良く・訪れて楽しい、『みなとまち・さかなまち』											
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (令和元年度繰越)				交付対象	静岡県						
計画の目標	<p>・沼津港において、回遊性の高いにぎわい拠点の形成と港湾機能の利便性向上を図る。また、戸田漁港と一体的に係留施設を整備することにより、海上交通ネットワーク等の利便性向上を図るとともに、両港を含む駿河湾内の海上交通ネットワークの活性化や持続可能な水産・漁業活動の実現により、地域の共生・交流を促し、海の魅力を高め、観光産業や水産業の活性化に伴う、地域の再生を図る。</p>											
計画の成果目標 (定量的指標)	<p>・沼津港周辺および戸田地区の観光交流客数の増加 153.1万人 (H24基準年度) → 157.0万人 (H30年度末)</p> <p>・戸田漁港の属人水揚量の内、沼津港での水揚量の維持 16.1千トン (H24基準年度) → 16.1千トン (H30年度末)</p>											
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考	
									当初現況値	中間目標値		最終目標値
									(H24基準)	—	(H30末)	
①	沼津港周辺および戸田地区の観光交流客数の増加								153.1万人	—	157.0万人	基準年の2.5%増
②	戸田漁港の属人水揚量の内、沼津港での水揚量の維持								16.1千トン	—	16.1千トン	基準年の維持
③												
全体事業費	合計 (A+B+C)	710 百万円	A	660 百万円	B	50 百万円	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)				
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)			市町名	全体事業費 (百万円)	備考		
港整備推進交付金		沼津港			係留施設 L=579m、臨港交通施設 L=95m 港湾環境整備施設 A=0.7ha			沼津市	660	A		
事業数		戸田漁港			係留施設 L=362m			沼津市	50	B		
2												
2. 事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 —: その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、 ●: 本計画の期間中に完成 ▲: 本計画の期間終了後に完成見込)												
計画の移行なし	○	1	△	1	—	備考		○漁港、△港湾	計画の移行あり	●	▲	
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況												
<p>【港湾】 移転交渉の難航等から計画期間内に完成しなかった施設 (臨港交通施設) もあるが、整備済施設の効果が、沼津港周辺における観光交流客数の増加に寄与した。</p> <p>【漁港】 沼津港における属人水揚量維持の目標は達成できなかったが、係留施設の整備によってもたらされた出漁機会の拡大が、属人水揚量の大幅な増加に寄与した。</p>												
II 定量的指標の達成状況	指標① (沼津港周辺および戸田地区の観光交流客数の増加)	最終目標値	157.0万人		目標値と実績値に差が出た要因	<p>・沼津港みなとまちづくり推進計画 (H27.12策定) に基づき、施設整備を進めるとともに官民一体となってソフト対策を推進した結果、目標値を上回る観光交流客数を確保することができた。</p> <p>・戸田漁港の属人水揚量は基準年度に比べ1.5倍に増加しているものの、変動する魚価の状況により水揚げする港を選別しており、近年沼津港での取扱いが減少している。</p>						
		最終実績値	165.7万人									
	指標② (戸田漁港の属人水揚量の内、沼津港での水揚量の維持)	最終目標値	16.1千トン									
		最終実績値	6.4千トン									
	指標③ ( )	最終目標値										
		最終実績値										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況												
<p>【港湾】 観光バス乗降場と駐車場をショットガン方式で整備した結果、輻輳する車両と観光客との分離が図られ利便性が向上した。</p> <p>【漁港】 老朽化施設の改良等の整備を実施した結果、漁業者の就労環境が改善した。</p>												
4. 今後の方針等												
<p>【港湾】 計画期間内に完了しなかった施設があることから、他事業の活用等を図りながら整備を推進し、本地域の更なる活性化を目指す。</p> <p>【漁港】 沼津港における戸田漁港の属人水揚量が回復するよう、担い手の確保などソフト対策を含めた更なる就労環境の改善に関係機関が連携して取り組んでいく。</p>												

(1) 事業の目的

【港湾整備課、漁港整備課】

沼津港・戸田漁港における係留施設の改良や緑地の整備により、回遊性の高いにぎわい拠点の形成や利便性の向上を図るとともに、地域の共生・交流を促し、水産業や観光産業の活性化に伴う、地域の再生を目的とする。

(2) 指標①沼津港周辺および戸田地区の観光交流客数の増加

港湾整備による指標として、観光交流客数の増加を設定した。

指標②戸田漁港の属人水揚量<sup>(※1)</sup>の内、沼津港での水揚量の維持

漁港整備による指標として、属人水揚量の維持を設定した。

指標の達成状況

※1 当該漁港に所属する漁業者の総漁獲量

- ①平成30年度末の最終実績値は108.2%であり、目標値(102.5%)を達成した。
- ②平成30年度末の最終実績値は39.8%であり、目標値(100.0%)を達成できなかったが、その主な理由は、変動する魚価の状況により水揚げする港を選別しており、近年、沼津港での取扱いが減少しているためである。

計画の成果目標	定量的指標			
	H24基準年	H30末最終目標	H30末最終実績	H30末達成率
①沼津港周辺および戸田地区の観光交流客数の増加	100.0% (153.1万人)	102.5% (157.0万人)	108.2% (165.7万人)	105.6%
②戸田漁港の属人水揚量の内、沼津港での水揚量の維持	100.0% (16.1千トン)	100.0% (16.1千トン)	39.8% (6.4千トン)	39.8%

(3) 指標に関連する実施事例



(4) 定量指標以外の効果発現状況

沼津港においては、観光バス乗降場と駐車場をショットガン方式で整備した結果、観光客の利便性が向上し、戸田漁港では、老朽化施設の改良により、漁業者の就労環境が改善した。

(5) 今後の方針と目標達成見込み

沼津港については、移転交渉等の難航等で計画期間内に完了しなかった施設があることから、他事業の活用を図りながら整備を推進し、本地域の更なる活性化を目指し、戸田漁港については、属人水揚量が回復するよう、担い手の確保などソフト対策を含めた更なる就労環境の改善に関係機関が連携して取り組んでいく。